

教職員の職場環境の向上への支援

教育長 教員をサポートする人員体制の充実をはかる



古谷 眞司 議員

古谷 学校現場は授業や生徒指導、保護者への対応、地域コミュニケーション、クラブ活動、部活動など、多種多様な課題へ対応しており、それに伴い教職員の仕事量がふえ、夜遅くであったり、休日を返上しての出勤をしている。今後の対策、または支援を伺う。

教育長 これまで教職員の健康管理の面からも時間外勤務の縮減に向け、部活動の指導の見直しや定時退勤日



学校祭のようす

の設定など、各学校の状況にあわせ、取り組みを進めるよう指導しているが、なかなか改善につな

がっていない。今後は、教職員の勤務状況の改善に向け、教科指導の面では、様々な教員の加配制度の活用や、学習支援員の配置など教員をサポートする人的体制の充実に向けて、地域

の資源を十分学校の現場にも活用していくよう検討していく。

部活動の指導は、指導や遠征などに係る教職員の負担の軽減に向け、社会教育、特に社会体育関連の団体に協力なども得られるように、部活動指導員や外部指導者制度について、検証や検討を行っていく。

部活動の重要性という点については、教育的観点からも大変、意義のあることであり、先生たちが情熱を持って取り組んでいるといえます。ただ少しでも、別な観点から先生方が軽減できるようなことがあれば、教育委員会としても積極的に取り組んで行きたいと考えていく。

特に、地域の資源の活用という観点は、これから取り組んでいける部分ではないかと考えているところですので、学校と共に検討していく。

町長 教職員の時間外勤務の解消に向けて取組が必要である。町費により学習支援員や中学校へ教員の配置を行っており、教育環境の改善とともに、教員の業務軽減につながっていく。

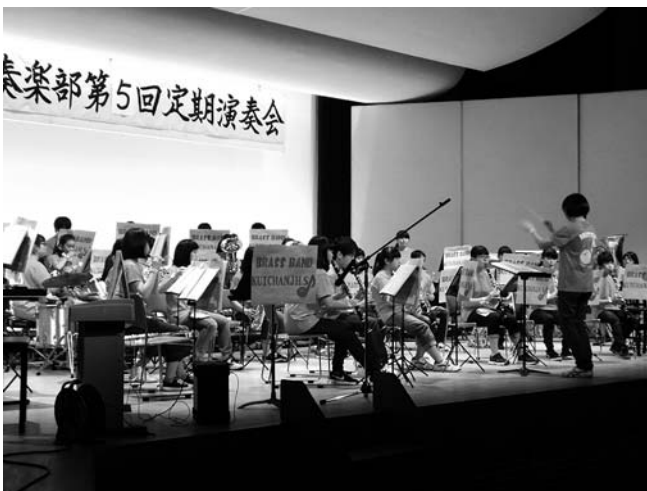
と考えている。教育委員会との要望を聞きながら、予算の面も含め、協議・検討していく。

一般質問 古谷眞司

古谷 スクールコーディネーター制度の活用などできないか。

教育長 スクールコーディネーター制度の活用については、

制度的な内容も精査しながら、検討を進めていきたいとは思っている。しかし教育委員会としてコミニティスクールの導入に向けたさまざまな検討の中で、地域の資源を学校の現場にも活用していく取り組みができないか検討しているところです。



部活動のようす